

- 1 良好な環境を支える人づくり
- 2 自主的取組の拡大

第1節 良好な環境を支える人づくり

■ 現状と課題

- 本県の豊かな自然を守り、環境と調和した持続可能な社会をつくっていくためには、私たち一人一人の自覚と行動が不可欠です。
- そのためには、環境に関心を持ち、自ら学び、環境と人との関わりについて正しい理解を持ち、地域の課題解決へ向けて主体的に行動できる人を育てていく必要があります。
- 身のまわりの環境に関心を持って行動できる人を育成するために、身近な環境資源を活用した環境教育を推進することが必要です。
- 緑豊かで暮らしやすい環境づくりを推進するため、緑化技術の普及指導や森林環境教育を積極的に推進することがますます重要となっています。
- しかしながら、環境に関するアンケート結果では、「自然観察会や環境講演会、植林や緑化活動に参加している。」と回答した人は、14.2%にとどまっています。

■ 方向性

- 環境学習の窓口として設置した「環境サポートセンター」において、学校や地域における環境学習を総合的に支援します。
- 環境に関する基礎知識やボランティア活動を幅広く学び、地域の環境学習又は環境活動を自ら主体的に実践できる人材を育成します。
- 森林環境教育を推進するため、それぞれの事業ニーズにあった指導者を継続的に育成します。
- 「森林学習センター」において、森林・林業の体験・学習施設として県民ニーズを踏まえたイベントの企画・開催を行います。
- 「緑化センター」において、緑化技術の指導や緑化に関する普及啓発活動、森林環境教育に関する講座等を行います。
- 環境教育に係る教科、科目等の優れた実践事例の蓄積と普及により、小・中・高等学校等の授業の改善・充実を図ります。
- 教職員に対する環境教育研修講座を実施して、環境教育や環境学習の推進役となる人材を育成します。
- 県民が主体的に活動できるよう、環境教育や環境学習を行う上で参考となる情報を提供します。

■ 施策展開

① 環境学習の推進

- ◆群馬県環境学習等推進行動計画の推進【環境政策課】
- ◆動く環境教室の推進【環境政策課】
- ◆環境学習サポーターの育成【環境政策課】
- ◆ぐんま環境学校(エコカレッジ)の推進【環境政策課】
- ◆環境アドバイザー登録、支援、活躍【環境政策課】
- ◆こどもエコクラブへの支援【環境政策課】
- ◆尾瀬学校推進【自然環境課】(再掲)
- ◆尾瀬環境学習推進【自然環境課】(再掲)
- ◆ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業(森林環境教育・普及啓発)【林政課】
- ◆ぐんま緑の県民基金事業(森林環境教育指導者養成)【緑化推進課】